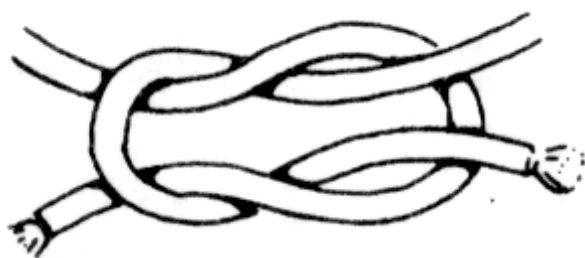


本結び



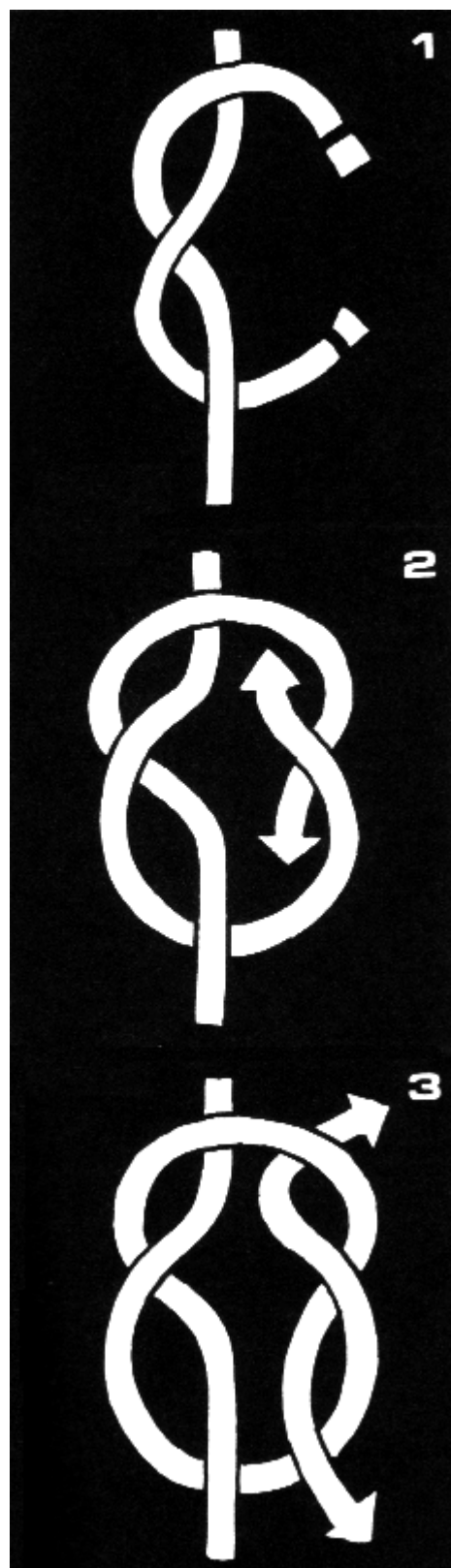
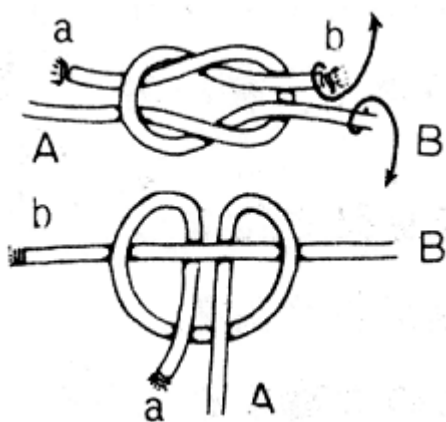
square knot

用途

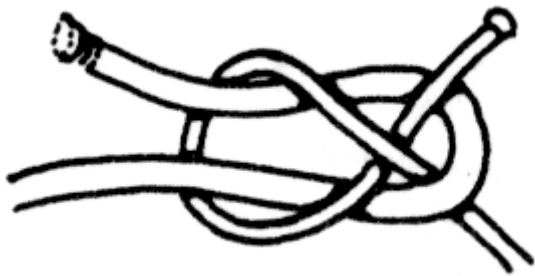
2本の綱をつぎ合わせたり、ものをしばって止めるなど、種々の目的に最も多く用いられる。

① 太いロープや、太さのちがうロープのつなぎには不適當。

① 一方のロープだけに力が加わると形がくずれて解けてしまうが、その性質を利用して、結んだ端の一つを図のように引き合わせると「ひばりの頭」という結び方ができ、固い結び目も解きやすくなる。



一重つぎ

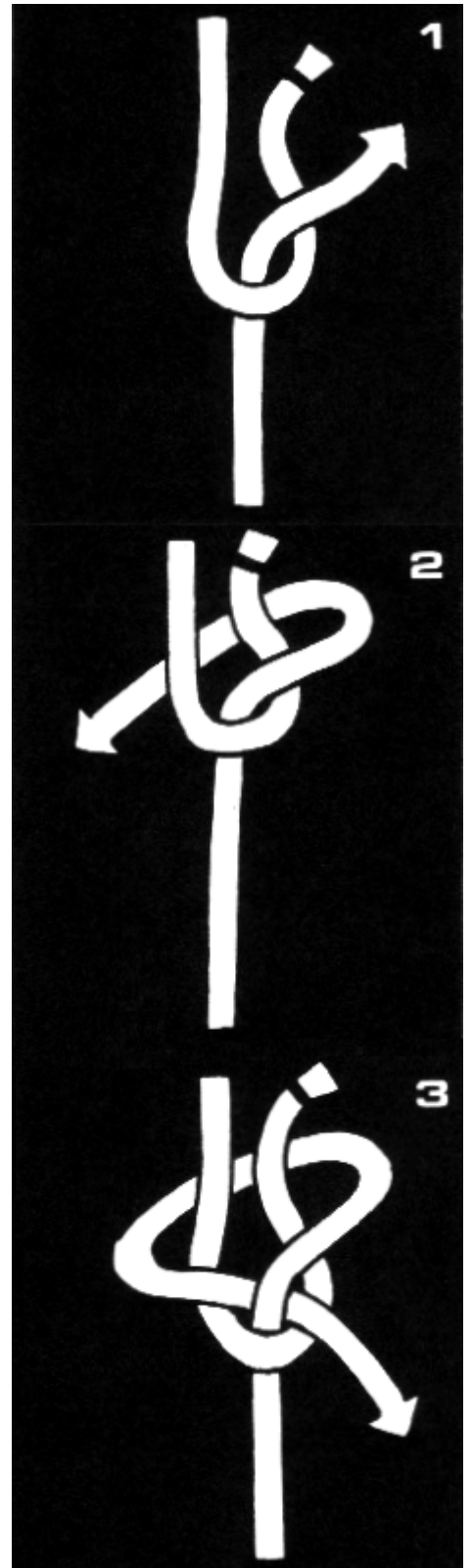


sheet bend

用途

2本の綱の太さや湿り気が違う場合とか、一方の端が短くしか使えないような場合に都合のよい結び方。

① はた糸が切れたときにすばやくつぐことができるので、はた結び(weaver's knot)とも呼ばれる。



班氏名

第 四

イソダハ2007 兵庫県立但馬長寿の郷 2007/6/2~3



なわ結び

かしの結び



用途

儀式用の結びのひとつ。願いが「かなう」ということで、古来より縁起の良い結びとされている。

① Lover's knot という外国名もあり、外国でも縁起の良い結びとして伝えられている。



もやい結び

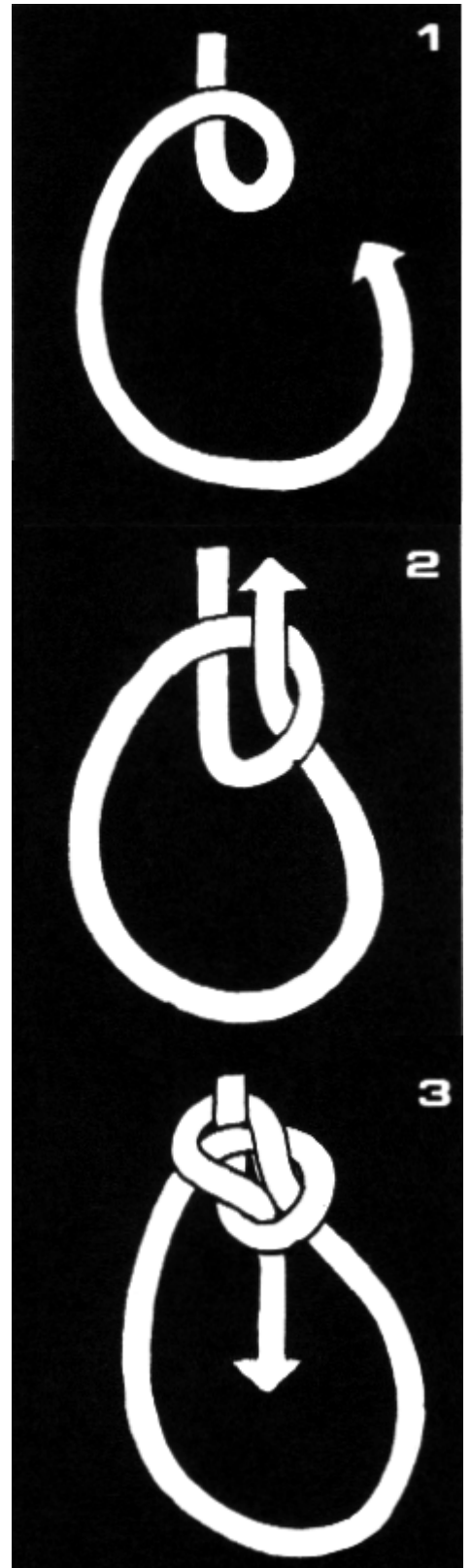


bowline

用途

輪を作るときに使う。結び目が移動せず、輪の大きさが変わらないので、体にかけて人命救助などに利用される。

① 元を引っ張られながら自分の体にすばやく結べるように練習しておこう。



巻き結び



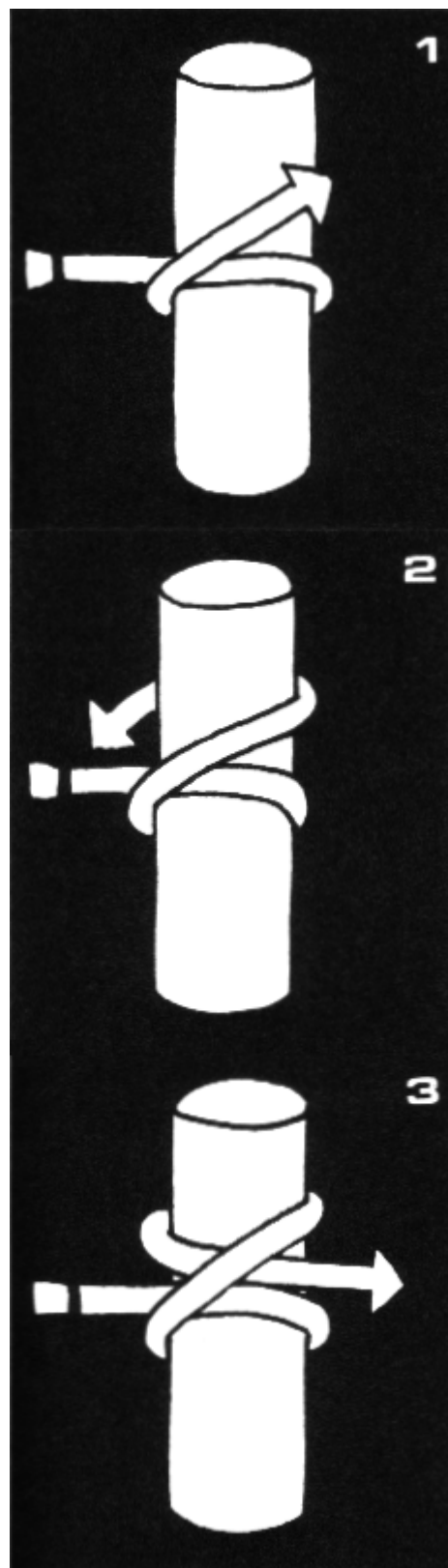
clove hitch

用途

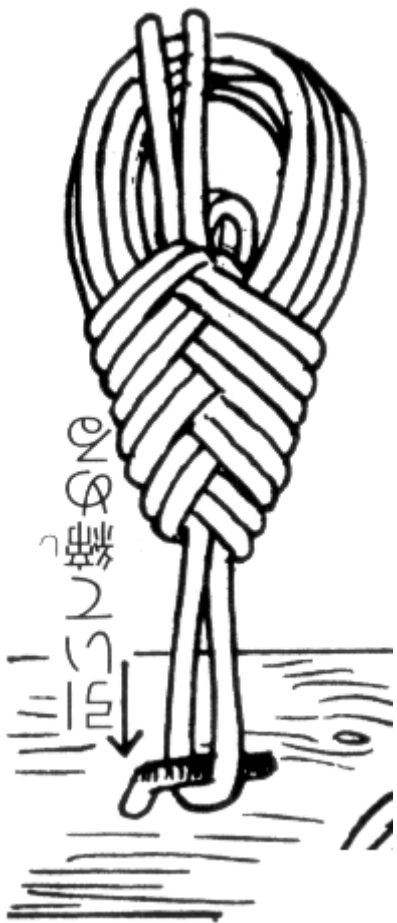
柱・帆柱を安定させるために張り綱を止めるときや、足場を組み立てるとき(角しぼり)、柱と柱を結びつけるとき(はさみしぼり)に使う。

① 巻き結びは端が抜けるとすぐに解けてしまうので、端をしっかりさせるため、ひと結びなどを入れる。

② ビンを紐でつるすときにも都合がよいのでインク結びの別名がある。

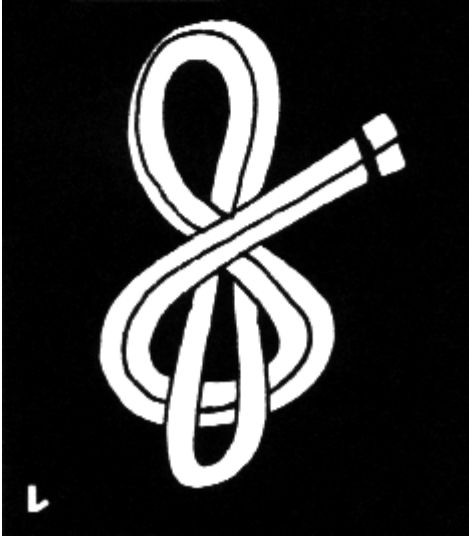
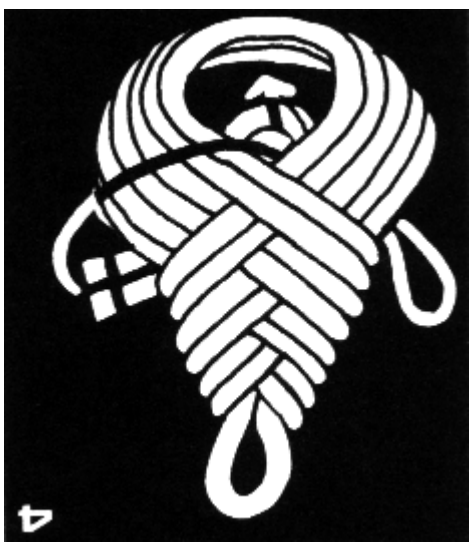


三つ結び

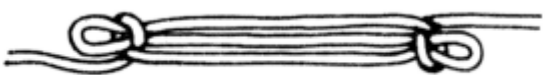


用途

ロープを格納するのに使う。



ちぢめ結び



Sheep shank

用途

長いロープを中間で折り返して、一時的に短くするための結び。

① この結びを多少長い時間持たせるため、動きの多い場所に使った場合には、輪の部分に棒を差し込んだり、輪を締めめているひと結びを、巻き結びなどに変えたりする。

